

常任理事会だより

山川智之

本稿では、前号で報告後、平成30年7月27日、9月28日、10月19日（9月はWeb会議）に開催された計3回の常任理事会の内容のうち主なものをお伝えするとともに、日本透析医会の主な活動についてご報告します。

1. 災害対応について

今年は災害が大変多く、透析医療に影響を与えた災害も少なくありませんでした。

- ① 2018年6月18日 大阪府北部地震。7施設が一時的に透析不能となる。
- ② 2018年7月6日～平成30年7月豪雨。岡山、広島施設が大きな被害。
- ③ 2018年9月4日～平成30年台風21号。大阪、兵庫で停電が多発。
- ④ 2018年9月6日 北海道胆振東部地震。広域停電により北海道のほぼすべての透析施設が影響を受ける。
- ⑤ 2018年9月30日～台風24号。愛知、静岡で停電。

それぞれ、日本透析医会は行政と連携しながら、災害対応にあたってまいりました。被害状況、対応の詳細につきましては、2019年4月発刊予定の日本透析医会雑誌34巻1号でご報告させて頂く予定です。

その中でも平成30年7月豪雨災害は、広島県、岡山県を中心に透析医療に大きな被害をもたらしました。これを踏まえ、東日本大震災、熊本地震と同様、日本透析医会として支援金を募りましたところ、関係各方面より多大なご支援を賜り総額53,461千円の支援金をお預かりさせていただきました。支援金の配賦については、現地視察なども参考に、被災施設の修繕に多額の費用を要することを勘案、岡山県医師会透析医部会、広島県透析連絡協議会に厚く配分させていただくことになりました。詳細につきましては、ホームページをご参照ください。

2018年10月2日には健康局がん・疾病対策課長および担当者と面談させて頂き、行政と医療者が連携した透析医療の災害対策の今後の方向性を中心に意見交換させて頂きました。

2. 支部設立について

9月の常任理事会において日本透析医会群馬県支部および福井県透析施設ネットワークより、また、11月の常任理事会において琵琶湖透析医会より支部設立についての申請があり承認されました。

現時点での支部のない県は二つ（鳥取，愛媛）となりました。

3. 日本透析医会研修セミナーについて

2018年11月11日に仙台・江陽グランドホテルにて，研修セミナー「透析医療における Current Topics 2018（仙台開催）」を開催しました。テーマは「今日の透析療法—抱える諸問題と解決への模索—」としました。多数の方に参加頂きありがとうございました。

来年度は，春は2019年5月19日（日）に総会と東京で同時開催，2019年秋は11月3日（日），熊本での開催を予定しております。